

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	エイキソーシャルワーク	事業所番号	1610101550
住所	富山市新庄本町三丁目1-13	管理者名	木村 貴之
電話番号	076-452-3899	対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>場所 北陸銀行 新庄支店 様</p> <p>日時 令和5年6月1日～6月28日</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要 施設外就労先の有限会社エイキ（解体リサイクル業）に集まる廃棄物を「再生アート」として表現・再利用し展示販売を行う。SDGs活動の一つとして、未来の豊かな地球環境を守るために廃棄物でできることを考え、環境問題を広報する行う。</p> <p>利用者数 2名（ブログや動画、作品作成の広報担当）</p> <p><目的></p> <p>・地域に根ざす金融機関に再生アートを展示させてもらうことをきっかけに、産業廃棄物がアート作品に生まれ変わり、見る人の目や心を惹きつける存在になることや、より良い地域社会づくりに貢献することを目的とする。 多くの地域住民に親しまれている北陸銀行 新庄支店さんのロビー展示スペースをお借りし、「廃棄物」がアートとして新たな役目を得ることで再度生かされる様子を展示したり、「解体することは再生する未来に繋がっている」ことなどメッセージを添えて知ってもらう。 この活動をとおり「廃棄物」への視点を変える機会を提供したい。</p> <p><成果></p> <p>・北陸銀行の中でも来庫の多い新庄支店様に展示のお声がけをいただき、解体後の廃材のみを使った再生アートを1ヶ月にわたり、ロビー展示させていただいた。展示期間、来庫されたお客様が待ち時間に作品をみながら、SDGsへの取り組みに関心を寄せられていたと職員の方から話を伺うことができ嬉しく思った。</p> <p><課題> 作品の移動時に壊れることがある</p> <p>・箱アートのほかに、今回は細かい作りのスクラップアートがあり、作品を移動することでボンドの接着面がとれるなど修理しながらの展示となった。運搬時の安全な方法について今後も課題。</p>	<p><活動の様子></p> <p>5月31日 荷物搬入・展示準備 再生アート、ランナーアート 販売案内 有限会社エイキ チラシ</p> <p>6月1日 展示開始</p> <p>約1ヶ月</p> <p>6月28日 荷物片づけ</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>活動の様子の写真、成果物の写真、活動内容の追加コメントは、当事業所のホームページやSNSやInstagramに掲載。</p> </div> 
---	---

連携先の企業等の意見または評価

<p>この度は、北陸銀行新庄支店で再生アートの展示ありがとうございました。</p> <p>同地区、新庄の福祉事業所でこのような広報活動に取り組まれていることを知り展示お声をかけさせていただきました。ロビーの展示スペースに壁一面に展示された作品を、来庫時の待ち時間にご覧になられている様子でした。「廃材からできてるの？すごいね」などといった声もありました。</p> <p>私どもは今後も地域に根差す金融機関として、地域とのさまざまな接点を生かし、人、企業、情報をつなげ、地域価値を高めていきたいと思っております。他支店でのロビー展も毎月行っておりますので、ご展示を前向きにご検討いただきたく存じます。今後、ますますのご活躍をお祈りしております。ありがとうございました。</p>			
連携先企業名	北陸銀行 新庄支店	担当者名	堀田様